

—【報告】第5回FDフォーラム（サマーフェスタ）—

8月27日（金）、市ヶ谷キャンパス外濠校舎3階S305教室にて、第5回FDフォーラム（サマーフェスタ）を開催しました。現在、多くの高等教育機関において、双方向の学生参加型授業、学生自身のアイデアによる授業展開、シラバスについての教員との意見交換会など、直接、学生自身が授業改善に関わる事例が見受けられます。

本学においても、関東圏FD連絡会を構成する法政大学（H）、青山学院大学（A）、立教大学（R）、東洋大学（T）の学生同士のFD連携の試みとして、「HART*コミュニティ（各大学の頭文字からネーミング）」を結成し、フォーラムの開催に向けて学生が主体的に準備を進めてきました。大学間の学生・職員・教員の交流を通して、大学の授業改善やキャンパスライフについて考える「学び場」として本フォーラムを位置付け、このたび開催が実現しました。

総合司会は川上忠重FD推進センター長（理工学部教授）が担当しました。オープニングセレモニーでは、昨秋に開催された「FD学生の声コンクール」の受賞作品を本学アナウンス研究会のメンバーが朗読し、和やかな雰囲気での幕開けとなりました。

第1部では、山形大学基盤教育院／高等教育研究企画センター准教授の杉原真晃氏を講師にお招きし、「大学での『授業』の活性化とは！！」と題した基調講演が行われました。授業を活性化するための具体的な工夫や取り組み事例を多数盛り込んだ「あっとおどろく大学授業NG集」の映像も交えた講演は、新たな課題や問題点の提起もなされ、参加者は楽しく、熱心に聞き入りました。

第2部では、今回新たな趣向により、学生団体の課外活動を披露しました。出演に名乗りを上げてくれた奇術愛好会、落語研究会のメンバーが、日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。

また、イベント終了後にはボアソナード・タワー25階のスタッフクラブにて、基調講演を行った杉原准教授を囲んでの情報交換会も開催され、サマーフェスタに出演した学生団体のメンバーも加わって、引き続き熱い意見交換がなされました。

第5回フォーラムは全国20大学から約100人の参加がありました。これからの本学におけるFD推進において、確かな手ごたえを感じるフォーラムとなり、盛況のうちに幕を閉じました。

学生から見た大学生活においても核となる「授業」について、参加者全員であらためて考えることにより、大学における「授業改善」や「キャンパスライフ」の在り方について検討する絶好の機会となりました。

次回の第6回FDフォーラムは、2010年12月11日（土）13:00から、市ヶ谷キャンパス外濠校舎にて開催を予定しています。